

昭和40年度日本気象学会秋季大会

(プログラムその他詳細は本文347頁以下を参照)

1. 期 日: 12月1日(水), 2日(木), 3(金)
2. 場 所: 気象庁講堂(第1会場), 第1会議室(第2会場)
3. 行事: 下記のとおり

行	事	日	時
大会(研究発表)	(両会場)	12月1日(水)	9:30~12:00
〃	〃	〃	13:00~17:00
全国理事会	(第2会場)	〃	17:30~
大会(研究発表)	(両会場)	12月2日(木)	9:30~12:00
〃	〃	〃	13:00~14:00
シンポジウム(成層圏気象)	(第2会場)	〃	14:00~17:00
懇親会			17:30~
大会(研究発表)	(両会場)	12月3日(金)	9:30~12:15
〃	〃	〃	13:00~17:00

大会委員長 仁科伸彦

なお 12月3日(金)大会の研究発表終了後第2会場で雲物理の Informal Meeting が開かれます。

大気と海洋の相互作用に関するシンポジウム

(第2回)

会期: 11月5日(金)13時より

会場: 気象庁第1会議室

司会: 岸保勲三郎(気象庁)

話題提供: 小倉義光(東大海洋研)

宮崎正衛(気象庁海洋)

前回は大気と海洋の相互作用について広い分野にわたって展望しましたが、今回は焦点を予報の問題にしぼって話題提供と討論を行ないたいと思います。多数会員の参加を希望します。

第12回 風に関するシンポジウム

会期: 11月19日(金)9時30分より

会場: 気象庁講堂

プログラムは表紙3頁参照

12月の月例会のお知らせ

主題: 気象電気

会場: 気象庁第1会議室

会期: 12月4日(土)9時30分~17時まで(大会翌日)

研究発表および総合報告と討論を行ないます。

個人研究発表は気象研究所 高層物理研究部北川信一郎まで、11月15日までに申込むこと。

総合報告と討論:

話題提供

- 1) 孫野長治(北大理): 降水の電気
- 2) 菊地勝弘(北大理): 雷雲の電荷生長
- 3) 三崎芳郎(気研高物): サブミクロンエアロゾル
- 4) 川野 実(名大工): 放射性エアロゾル

なお気象電気の月例会は例年1月に行なってきましたが、今年度は12月の大会翌日に開くことにしました。